

2011年1月10日

(第31号) 冬号

獨協医科大学病院だより

— Dokkyo Medical University Hospital News —



日本医療機能評価機構

謹賀新年

日本医療機能評価機構認定病院

平成23年(2011年)

1月



第31号

新年のご挨拶

病院長 北島 敏光



明けましておめでとうございます。

新年にあたり、大学病院を代表して謹んでご挨拶を申し上げます。

獨協医科大学は今から37年前の1973年4月に開学し、翌年の7月に大学病院がオープンしました。開学当時、中庭に植樹した桜の木々も立派に成長し、春には満開の花を咲かせます。多くの患者さんが中庭のベンチに座ったり、病院と大学を2階で連結している中廊下から、美しく咲き誇る桜の花々を見学しております。また、秋になると栃木街道から当院の正面玄関に向かって入ってくると、道路脇のイチョウ並木が黄金色に輝いて受診患者さんを迎えます。

昨年の大きな出来事としては、1月20日に病院東側の空き地に栃木県初のドクターヘリが導入され、運航を開始したことです。皆さんは出動のために待機しているヘリを見学したり、離陸あるいは着陸する際の雄姿を見られたことと思います。白い機体に赤い縦縞の線が入ったドクターヘリは、デザインの良さから子供達に人気があります。



当院のヘリポートとドクターヘリ

ここで、ドクターヘリが当院に導入されるまでの経緯について述べてみたいと思います。1970年にドイツで誕生したドクターヘリは欧米ではまたたく間に普及しましたが、わが国では2001年に岡山県で運航されたのが始まりです。各都道府県におけるドクターヘリの導入促進事業は、2003年に厚生労働省から救急医療対策事業として発令されました。その後、2007年に衆議院でドクターヘリの全国配備を目指す特別処置法案が可決され、2008年には福田富一県知事がドクターヘリ導入による救急医療の充実をマニフェストとして公約して再選されました。これによって、県は獨協

医科大学病院をドクターヘリの基地病院とすることを正式に発表しました。その要請を受けて、当院では病院東側にあるヘリポートの面積を6倍に拡張し、さらに格納庫、給油施設、フェンスなどを建設しました。また、ヘリの離着陸をより安全にするために、ヘリポートの南北にある高い木々を伐採しました。さらに、当院ではドクターヘリ運航調整委員会を設置し、県の指導の下に消防機関、医療機関、警察、自衛隊、市町村、学校などと協議を続けながら、ドクターヘリの運航に向けて調整してきました。また、近隣住民の方々にも説明会と見学会を開催し、ご協力とご理解をいただきました。ここに、改めて感謝申し上げます。



ドクターヘリは、ユーロコプター社製EC-135型の最新鋭機で、全長が12.16メートル、定員が6名、飛行スピードが時速約200キロメートルです。栃木県内ならば、当院を離陸後20分以内に救急現場に到着できます。医師と看護師が初期治療を行い、直ちにドクターヘリによって患者さんを適切な病院に搬送して救命率を上げています。運航業務を担当する本田航空からは、機長、整備士を当院に常駐していただいております。ヘリの運航が安全に遂行できるよう万全の体制で臨んでいます。初年度の飛行回数は200回程度と予想していましたが、350回以上の出動となりそうです。

新聞報道によりますと、本年3月19日には北関東自動車道の群馬県側が全面開通になります。2年前に北関東自動車道の茨城県側が全面開通し、東京や埼玉県 of 病院で受け入れを拒否された患者さんが救急車で東北自動車道と北関東自動車道を通して当院へ搬送されることがありました。これからは群馬県からの患者さんが救急搬送されることが予想されます。壬生インターから当院までの直線道路が建設中のまま頓挫していますが、多くの救急患者さんのために一日も早い開通を希望致します。



最後になりますが、皆様におかれましては、当大学病院を引き続きご支援いただきますよう衷心からお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

栃木県ドクターヘリ 運航開始1年を迎えて

当院では栃木県ドクターヘリの基地病院として、平成22年1月より運航を開始し、今月1周年を迎えます。

運航開始より、1年を通じて県内3次救急・2次救急医療機関及び県内消防機関と地域住民のみなさまのご支援のもと、栃木県ドクターヘリ運航事業は軌道に乗りつつあります。

今回は、当院広報誌を通じて、みなさまから多く寄せられるご質問を中心に、栃木県ドクターヘリについてご紹介いたします。

今後も県民のみなさまの救急医療に貢献できるよう、スタッフ一丸となって栃木県ドクターヘリを運航いたしますので、みなさまのご理解とご支援をお願いいたします。

栃木県ドクターヘリスタッフ一同

Doctor-Heli

ドクターヘリとは？

救急医療機器や医薬品が装備されており、フライトドクター（救急医）とフライトナース（看護師）が搭乗し迅速に救急現場に向い、救命処置を行い最適な医療機関に搬送することができるヘリコプターです。



救命処置の様子

ドクターヘリの目的

ドクターヘリの目的はその機動性と迅速性にあります。

飛行スピードは約200km/hr、基地となる当院から50km圏内であれば、離陸から約15分で救急現場に到着し、救急医による初期治療を開始することが可能となります。

医師による速やかな初期治療と医療機関への迅速な搬送が可能となり、傷病者の救命率向上や後遺症の軽減に貢献しています。

使用機体 ユーロコプター EC-135

厚生労働省のドクターヘリ推奨機種であり、世界で最も人気の高い“ユーロコプター社 EC-135”を栃木県ドクターヘリでは採用しています。

小型で汎用性が高く、双発機（エンジンが2つ）でありながら、低コスト・低騒音のパフォーマンスが高い機体です。



栃木県ドクターヘリの機体

運航時間

原則的に午前8時30分から日没時間の30分前まで運航しています。

※気象状況等により運航時間帯であっても、運航できないことがあります。

運航範囲

運航範囲は栃木県全域です。

約15分～20分で栃木県全域をカバーします。



栃木県内のヘリ到達時間

搬送先医療機関

ドクターヘリにて診療した患者様は、栃木県内の5箇所の3次医療機関（救命救急センター）もしくは、軽症と判断した場合には近隣の2次医療機関へ搬送します。

栃木県内で救命救急センターのある医療機関（五十音順）

- ・足利赤十字病院
- ・大田原赤十字病院
- ・済生会宇都宮病院
- ・自治医科大学附属病院
- ・獨協医科大学病院



栃木県ドクターヘリのスタッフ

栃木県ドクターヘリは当院を基地病院とし、当院のスタッフが搭乗します。出動時は医師（1名もしくは2名）と看護師、機長、整備士各1名の計4名もしくは5名で出動します。

○ドクターヘリフライトスタッフ数

- | | |
|-------------------------|-----|
| ・フライトドクター（救命救急センター所属医師） | 14名 |
| ・フライトナース（救命救急センター所属看護師） | 7名 |
| ・パイロット・整備士・CS（運航管理者） | 計5名 |
| （本田航空株式会社） | |



栃木県ドクターヘリのスタッフ

どれくらい出動しているか？

栃木県ドクターヘリは、月平均で約30回出動しています。
平成22年1月から12月末日までの出動回数は延べ322回です。

栃木県内のランデブーポイント（着陸地点）

栃木県内のランデブーポイントは414箇所あります。（12月末日現在）
ドクターヘリ着陸の際はみなさまのご協力をお願いします。



みなさまへのお願い

○ドクターヘリについて知ってほしいこと

栃木県ドクターヘリは、国及び栃木県から拠出された補助金で運営されています。

ドクターヘリは消防機関からの要請により出動します。患者様や市民のみなさまからの要請はできません。

ドクターヘリで搬送された場合の運賃は無料ですが、医療行為については保険診療の範囲内で患者様の負担となり、費用請求が生じます。（往診料＋救急搬送診療料＋診療費など）



ドクターヘリ着陸の様子

○栃木県ドクターヘリからみなさまへのお願い

着陸する場所は原則として、「ランデブーポイント」と呼ばれるあらかじめ登録された着陸場所（公園や学校のグラウンド等）の中から最適な場所を選定し着陸します。ドクターヘリが着陸する場合には、消防隊員の指示に従い、着陸場所からの速やかな退避などみなさまのご協力をお願いします。

ヘリコプターの特性上、運航及び離着陸の際には騒音・砂塵等が発生します。みなさまにはご迷惑をおかけする場合がございますが、ご理解とご協力をお願いします。

外来駐車場及び駐車場料金についてのお知らせ

施設課

外来駐車場ご利用の皆様には、日頃よりご理解ご協力を賜りありがとうございます。

平成22年11月下旬より平成23年4月末の半年間をかけまして外来駐車場の全面リニューアル工事をを行います。駐車場の概要としまして、駐車台数1,223台、入口ゲート3基・出口ゲート5基を設置、車道はすべて両側通行、駐車場の枠については長さ幅にゆとりのある広さを確保、雨の日の水溜り対策、さらに駐車場をブロック毎に色分けをし、標識などにより駐車した場所が分かるよう、来院する皆様の利便性・安全性に配慮したものといたします。工事中、ご迷惑をおかけいたしますがご理解ご協力を賜りたくお願いいたします。なお、工事完了までは駐車ゲートは使用いたしません。

また、今後引き続き駐車場を適切に維持管理していくために、外来駐車場利用者の皆様から下記のとおり駐車料金をお願いすることといたしました。

何卒ご理解の上ご協力くださいますようお願い申し上げます。

記

料金改定日 平成23年5月1日～

(工事の進捗状況により変更する場合があります。)

1 外来駐車料金

- | | |
|----------------|------|
| 1) 最初の30分 | 無料 |
| 2) その後7時間30分まで | 200円 |
| 3) 以降1時間毎 | 100円 |

【既存駐車場】

1,223台収容 【新駐車場】



当院のホームページがリニューアルしました

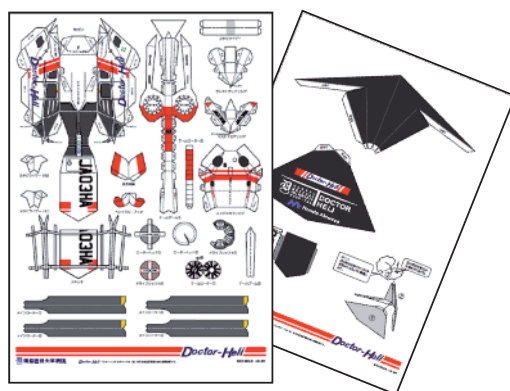
庶務課

当院では、昨年の9月よりホームページをリニューアルいたしました。ホームページ上では、当院の最新情報を発信しております。

公開講座開催のご案内や、外来曜日別担当医一覧表の公開、また栃木県ドクターヘリの出動状況の公開や、ペーパークラフトもダウンロードできますので、是非ご活用ください。



当院トップページ



ドクターヘリペーパークラフト

URL : <http://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-m.html>

看護師募集

○当院では看護師を募集しております。

詳細につきましては、下記担当までお気軽にお電話ください。

〒321-0293

栃木県下都賀郡壬生町北小林880

獨協医科大学病院 看護部

TEL : 0282-87-2395

FAX : 0282-87-2382



ドクターヘリ

新人教育



専門・認定看護師がお伝えする

健康生活情報



子どもの発熱、おうちでのケアのポイント

なぜ熱が出るの？



身体には、ウィルスや細菌などのバイ菌に感染すると、体温を上げてバイ菌と闘う仕組みがあります。これは、体を守る防御反応ですので、熱が高いからといって必ずしも重い病気というわけではありません。熱があっても、機嫌が良く食欲がある、おっぱいやミルクなど水分はとれているようなら心配はありません。おうちで少し様子をみて、昼間の暖かいうちに受診するようにしましょう。

1 寒がっているときは温かく、暑がっているときは涼しくしてあげましょう

衣類などを多く着せると、熱がこもりオーバーヒートの状態になります。環境を整えてあげることが大切です。掛けものや肌着などで調節しましょう。

2 効果的に冷やしてあげましょう

お子さんが嫌がらなければ、冷やしてあげます。熱が上がりきったら、「首」「わきの下」「足のつけね」など、太い血管の通り道を冷やすと熱が下がりやすくなります。クーキなどについてくる小さな保冷剤をガーゼに包んで使うと便利です。嫌がるようなら無理に冷やす必要はありません。

3 消化のよいものを食べさせてあげましょう

熱が続くと、おなかの調子も悪くなります。雑炊や、うどんをくたくたに煮たものなど、消化が良く温かいものを少しずつ食べさせてあげましょう。



小さな保冷剤をスカーフなど
にくるんでわきの下に当てます



ただし 38 度以上の熱で、

- ☐ 生後 3 カ月未満 ☐ おっぱい・ミルク、水分を飲みたがらない
- ☐ 元気がなくぐったりしている(ママと目が合わない、おもちゃを見ないなど)
- ☐ 半日程度おしっこが出ない ☐ 息をするのが苦しそう
- ☐ 息をするとき音がする(ゼイゼイなど) ☐ もともと病気を持っている

上記に一つでも当てはまるようなら、診療時間外でも早めに受診しましょう。



新生児集中ケア認定看護師 小鷲明美・小児救急看護認定看護師 尾島和美

編集後記

病院だよりをお読みになっている皆様、あけましておめでとうございます。

私達病院だより編集委員は、当広報誌を通じてより多くの方々に病院を知って頂けるような最新情報を提供することを心掛けております。みなさまがお知りた情報やご希望・ご意見等がございましたら、何なりとお申し付け下さい。よろしくお願いいたします。

今年はみなさまや病院にとってどんな年になるのでしょうか？

当院では教職員一丸となり、本年も地域医療に貢献してまいります。

獨協医科大学病院だより第31号

〒321-0293

栃木県下都賀郡壬生町大字北小林880番地

TEL 0282-86-1111 (代表) FAX 0282-86-4775

当広報誌は当院ホームページよりご覧いただけます。

[獨協医大病院](http://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-m/) 検索

<http://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-m/>

発行年月日／平成23年 1月10日

編集・発行／獨協医科大学病院広報誌委員会

印刷／株松井ピ・テ・オ・印刷